



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

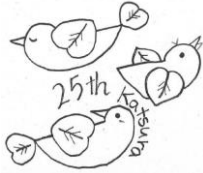
12月号

令和3年11月30日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



今だからできること

副校長 須藤 善秀

11月18日木曜日、24日水曜日に、低・中・高学年ブロックに分かれ運動会を行いました。中学年ブロックは延期日の開催となりましたが、両日ともに晴天に恵まれた運動会になりました。

徒競走をふり返ると、1年生は、自分のコースを真すぐに走るように頑張りました。2年生は、最後まで全力で走り切ることが頑張りました。3年生は、初めてカーブがあるコースを経験する中で、力の入れ具合を考えながら走り切りました。4年生は、去年の経験を生かしカーブではコーナーの内側に体を軽く傾けて走る姿が多くみられました。5年生は、初めて100m走の中で、疲れても最後まで全力で走り切っていました。6年生は、最後の運動会で、自分の持てる力を出し切り悔いの残らないように走り切っていました。それぞれの学年で、体育科学習の「走の運動遊び」「陸上運動」にある目標を意識した走りができていたと思います。

演技をふり返ると、1・2年生は、軽快なリズムの音楽に乗って、弾んだり回ったり、友達と調子を合わせ、体を大きく動かし踊っていました。また、低学年には難しい隊形移動もしました。移動した後、正しい位置を確認したり、列を整えようとしていたりする姿に感動しました。そして何より笑顔で楽しそうに踊っている姿が印象的でした。

3・4年生は、はじめは、体の柔軟さを表現しました。日々のストレッチなどの積み重ねが表れたと思います。続いてフラッグを使ったダンスでは、一斉にフラッグの動きを合わせ旗がなびく様子がとてもきれいでした。集団演技として動きのそろった素晴らしいものになったと思います。はじめはフラッグの扱いに戸惑いながらも、どうやったら旗がきれいになびくかを考えながら一生懸命に練習をしていました。本番では、その練習の成果が表れたと思います。

5・6年生のソーラン節では、腰を低く落とし、地面を強く踏みしめ力強く踊る姿が印象的でした。櫓をこぐ動きや、網を投げたり引き上げたりするなどの動きの意味を知り、漁師になったつもりで動きを表現していました。掛け声については、事前に録音しておいたものを流すこととなりましたが、踊りの動きは力強く、その場で声を出しているかのような感じでした。声ではなく、体全体でソーラン節の力強さを表現しているように感じました。短い練習の中で、それぞれのブロックが工夫をした、とても素晴らしい演技になったと思います。

10月11月は年度当初から決まっていた行事が多くある時期に、「子どもたちの生活リズムを崩さない」「学習の保障」「感染症拡大の状況によって途中で変更をしない」ということを大切にしながら運動会を開催するにはどうしたらいいか、教職員全員で悩みながら検討を重ねました。その結果、今年度は、低・中・高学年ブロックに分けた、「ブロック運動会」という形での開催に至りました。多くの制限がある中で、職員と児童とが一緒によりよい運動会にしようと考えていました。ブロックでの開催ということから、開会式や閉会式、徒競走や演技の紹介などで多くの児童が活躍する場が設けられ、全校での運動会では見られない役割を果たす姿も見ることができたと思います。

これから先も、コロナ禍以前と同じ状況に戻ることができるか分かりません。だからこそ、『前はこうだった』に固執することなく、『今』できること、『今だから』できることを考え、そこに『ねらい』『目標』をしっかりと設定し、より良い活動になるようにしていきたいと思っています。